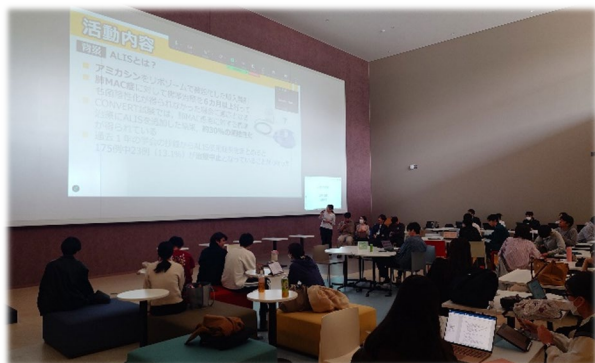


## アスパイア・プロジェクト報告会が実施されました。

千葉大学医学部では、令和 7 年 10 月 28 日（火）、医学部棟（医学系総合研究棟）3F アクティブ・ラーニング・スペース「未来と創造」にて、令和 7 年第 3 回アスパイア・プロジェクト報告会が実施され、医学部 6 年次生がスライドにより各々の成果報告を行いました。



発表の様子

アスパイア・プロジェクトとは、カリキュラム上、臨床実習が行われている期間において、個人毎に設定された 8 週の間に行う主体的活動のことを指します。この期間中は通常の臨床実習には参加しない為、学生は皆、比較的自由に時間を使う事ができるこの期間中に、自らのキャリア形成や能力向上を目的とした活動計画を自由に立案し、実施・振り返りを行うことで、医学・医療に携わる者としてのプロフェッショナリズム等を向上させることができます。

今回は既にアスパイア・プロジェクト期間が終了している 42 名の学生が発表しましたが、検定を取得した方、国内外の多様な医療現場に参加した方など内容は多岐に渡り、会場は大いに盛り上がりました。

発表が終了したのちには、医学部の教員による厳正なる採点が行われ、その結果、最優秀賞として 1 名、優秀賞として 2 名が以下の通り選ばれました



表彰の様子

### \* 表彰状授与者 発表テーマ

- ・最優秀賞：本間 甲也さん（写真中央）  
「網膜色素変性における視力の予後予測 AI モデルの構築」
- ・優秀賞：加瀬 舞香さん（写真右）  
「テーマ分析を通じた ALIS（アミカシン・リポゾーム吸入用懸濁液）治療継続支援」
- ・優秀賞：一松 小百合さん（写真左）  
「がんサバイバーに対する妊孕性温存治療の妊娠成績の後方視的観察研究」



表彰者全員で集合写真